

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学・各論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎202教室
担 当 教 員	伊黒 浩二	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床柔道整復学各論Ⅲは柔道整復師の施術に必要な知識を習得する学問である。本授業では、肘関節、手関節、手指の脱臼と肩関節から手指までの軟部組織損傷について学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100%						
2. レポート: %						
3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(改定第7版)、柔道整復学実技編(改定第2版) 適宜資料の配布を行う						
《授業外における学習方法》						
授業前後に予習と復習を行うこと						
《履修に当たっての留意点》						
授業を受けるルール 教科書を読んでくる!、とにかくメモをとる!、休まない!、寝ない!、喋らない!						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節の脱臼を理解する(1)	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	肘関節部の解剖と機能, 肘関節の脱臼 1			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節の脱臼を理解する(2)	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	肘関節の脱臼 2			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部の脱臼について理解する	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	手関節の解剖と機能, 手関節の脱臼			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	手根中手関節・中手指節関節・指節間関節の脱臼について理解する(1)	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	指の解剖と機能, 手指の脱臼 1			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	手根中手関節・中手指節関節・指節間関節の脱臼について理解する(2)	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	手指の脱臼 2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節部の軟部組織損傷について理解する(1)	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	肩関節部の解剖と機能, 肩関節部の軟部組織損傷 1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節部の軟部組織損傷について理解する(2)	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	肩関節部の軟部組織損傷 2		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	上腕部の軟部組織損傷について理解する	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	上腕部の解剖と機能, 上腕部の軟部組織損傷		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節部の軟部組織損傷について理解する(1)	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	肘関節部の解剖と機能, 肘関節部の軟部組織損傷 1		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節部の軟部組織損傷について理解する(2)	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	肘関節部の軟部組織損傷 2		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部の軟部組織損傷について理解する(1)	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	前腕部の解剖と機能, 前腕部の軟部組織損傷 1		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部の軟部組織損傷について理解する(2)	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	前腕部の軟部組織損傷 2		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部の軟部組織損傷について理解する	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	手関節部の解剖と機能, 手関節部の軟部組織損傷		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	手部・指部の軟部組織損傷について理解する	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	手部・指部の解剖と機能, 手部・指部の軟部組織損傷		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	前期総復習		